

邦楽
女もしてみむとて

①

女流義太夫

御殿をめぐる女たち

江戸時代の娘浄瑠璃から女流義太夫へと
二五〇年続く女性のすがたがありました。
「御殿」を舞台に意地と嫉妬の女心を
人間国宝 竹本駒之助の特別出演を得て
若手演奏家が綴ります。



◆お話……………水野 悠子

◆「妹背山婦女庭訓」
いもせやまおんなていきん

◆姫戻りの段

浄瑠璃 竹本駒之助
三味線 鶴澤津賀寿

◆金殿の段

浄瑠璃 竹本京之助
三味線 鶴澤 賀寿

◆「加賀見山旧錦絵」
かがみやまこきょうのにしきえ

◆廊下の段

浄瑠璃 竹本 越里
三味線 鶴澤 駒清

◆長局の段
ながつぼね

浄瑠璃 竹本 越孝
三味線 鶴澤津賀花



鶴澤津賀花



竹本越孝



鶴澤駒清



竹本越里



鶴澤賀寿



竹本京之助



鶴澤津賀寿



竹本駒之助

平成29年 7月29日 田

午後2時開演 [1時30分開場]

主催 公益財団法人 新日鉄住金文化財団

料金 全席指定◎4,000円

学生優待◎2,000円

親子セット券◎3,000円 (小中高生と大人)

発売日 友の会優先発売……………5月 9日(火)

一般発売……………5月11日(木)

チケットのご予約は

◎紀尾井ホールウェブチケット

<http://www.kioi-hall.or.jp>

※優先販売中及び一般発売初日18時まではお席をお選びいただけません。

◎紀尾井ホールチケットセンター

03-3237-0061 (10時～18時/日・祝休)

※本紙掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。

手数料は発券方法により異なります。

※学生券・親子セット券は、紀尾井ホールチケットセンターのみで取扱います。

※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。



紀尾井小ホール

紀尾井ホール5F

公益財団法人 新日鉄住金文化財団
しんにってつずみきん

東京都千代田区紀尾井町6番5号 〒102-0094

最寄駅 ●四ツ谷駅 (JR線・丸の内線・南北線) 麴町口徒歩6分
●麴町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
●赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分
●永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

女流義太夫 御殿をめぐる女たち

日本の伝統芸能は男性主体が多く、女性演奏家の『檜舞台』をみつけることはなかなか容易ではありません。しかし、演奏者が女性であるという特徴が最大の魅力を発揮する瞬間があります。母子の情愛、廓の華やぎ、嫉妬や恋に悩む、曲に登場する感情豊かな女性達に命を与えて共感させる力を持ち、華やかでありながら確かな技術で表現するのも女性演奏家の魅力です。女性演奏家の素晴らしい技・華をじっくり味わう新シリーズでは、義太夫・清元・常磐津・長唄など、それぞれのジャンルで次代を担う女性演奏家が渾身の演奏を繰り広げます。

第一回は江戸時代から二五〇年受け継がれてきた女流義太夫です。明治時代には最大の人気を誇り、彼女たちを取り巻く「ドースル連」と呼ばれたファンの様子は、アイドルを盛り上げる現在のファンと通じるところもあるようです。新シリーズの幕開きは、人間国宝の竹本駒之助を筆頭に、若手と中堅の演奏で義太夫の魅力をつぶしお楽しみいただきます。

「妹背山婦女庭訓」

明和八年（一七七二）大坂竹本座にて初演。大化の改新（六四五）前後を題材としています。蘇我入鹿は超人的な力で権力をもち、藤原淡海は父鎌足の意に沿い、入鹿討伐のため入鹿の弱点を求めます。その中で杉酒屋の娘お三輪と恋仲の求馬（藤原淡海）、その求馬の元へ夜ごと通う橘姫（入鹿の妹）が織りなす恋と嫉妬の様が聴き所です。

「姫戻りの段」

三笠山の麓に作られた御殿に橘姫が帰ってきた。官女が姫の袖の袂についている赤い糸をたぐると、求馬が現れます。橘姫は求馬の正体を知り、討たれる覚悟をしますが、求馬の妻となるべく入鹿が所持する十握の宝剣を奪うことを誓います。

「金殿の段」

お三輪は求馬に付けた糸が切れながらもやつとこのことで御殿につきます。求馬と橘姫の祝言が行われることを知り、奥に入ろうとしますが、官女たちにさんざんにいじめられます。

「その後の話」

嫉妬に狂ったお三輪は、鱗七（謙足の家臣金輪五郎）に刺されます。爪黒の鹿の血と嫉妬に狂う女の生血を笛にかけて吹けば、入鹿の力が衰えることからその生贄となつたお三輪でしたが、求馬のために喜んで死んで行くのでした。

「加賀見山旧錦絵」

天明二年（一七八二）、江戸外記座にて初演。加賀藩で起きた加賀騒動を題材としたもので、全十一段の長編ですが、よく上演されるのは、全体の脇筋に当たる「女の戦い」を描いた女性が活躍する場面です。奥勤めをする局岩藤は、町人出身の中老尾上を辱めて、尾上は自害し、尾上に仕えるお初が岩藤を討ち取るお話です。七段目の廊下と長局の段を上演します。

「廊下の段」

館の廊下でお初と腰元たちが、前日鶴ヶ岡で尾上が岩藤に草履で打たれたことについて話をしている、岩藤がやつてきてお初を咎め打ちます。そこへ使者の弾正が来て、お初は解放されますが、お家乗っ取りを企む岩藤と弾正の密談を立ち聞きしてしまいます。

「長局の段」

【これまでの話】尾上は遺恨の草履と書き置きを入れた文箱を母の元へ届けるようお初に強く言いつけ、お初は出かけます。

途中で胸騒ぎがしたお初は、文箱を空け中身を見てびっくりし、急いで戻りますが、すでに尾上は自害してしまいました。尾上の恨みを晴らすと決心して、お初は部屋を飛び出して奥御殿へと、一散に駆けてゆくのでした。

竹本駒之助（たけもとこじまのすけ）

昭和二十四年竹本春駒に入門。文楽の師匠匠方に師事。同四十五年四代竹本越路太夫の門人となる。平成八年度第二十六回モータービル音楽賞受賞。同十一年重要無形文化財「義太夫浄瑠璃」個人指定保持者（人間国宝）認定。同十五年紫綬褒章受賞。同二十年旭日小綬章受賞。同二十一年度第六十四回文化庁芸術祭優秀賞（レコード部門）受賞。同二十二年第六十一回神奈川文化賞受賞。同二十七年第七十回文化庁芸術祭大賞（音楽部門）受賞。

鶴澤津賀寿（つるさわつがじゅ）

昭和五十九年竹本駒之助に入門。三味線を四代目野澤錦糸に師事。同六十年駒之助の義母鶴澤三生の幼名を継ぎ、初舞台。鶴澤重輝の孫かり弟子となる。平成十六年度第四十七回芸術選奨文部大臣賞新人賞（古典芸術部門）受賞。同十一年度第四回ヒクタイ財団賞（現、日本伝統文化振興財団賞）奨励賞受賞等。同二十一年重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者認定。

竹本京之助（たけもときょうのすけ）

平成十六年竹本駒之助に入門。同十八年国立演芸場にて初舞台。同二十七年義太夫協会新人奨励賞受賞。鶴澤賀寿（つるさわつかず）

竹本越里（たけもとこしや）

平成二十一年竹本越若に師事。後に竹本越道に入門。同二十二年国立演芸場にて初舞台。越道の幼名、越里を名乗る。

鶴澤駒清（つるさわこまさよ）

同十三年鶴澤駒登久に入門。同十五年国立演芸場にて初舞台。同十六年鶴澤清介の預かりとなり現在に至る。同十六年文化庁新進芸術家国内研修生。義太夫協会新人奨励賞受賞。同十九年度文化庁芸術団休人材育成支援事業研修生。

竹本越孝（たけもとこしやう）

昭和四十八年竹本越道に入門。同四十九年初舞台。同五十九年五世若山太夫に師事。平成二年より越孝の会を主催。同十年清栄会奨励賞受賞。同十二年重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者認定。同十九年女流義太夫初海外素浄瑠璃公演（フランス）、同二十三年二度目の渡仏公演、その他海外公演多数。義太夫節保存会理事。

鶴澤津賀花（つるさわつがはな）

平成十年竹本駒之助に入門。同十三年国立演芸場にて初舞台。同十八年度文化庁新進芸術家国内研修生。三味線を六世鶴澤燕三に師事。同十九年度文化庁芸術団休人材育成支援事業研修生。同二十一年度日本伝統文化振興財団第十回邦楽技能者オーディション合格。同二十三年清栄会奨励賞受賞。同二十九年第三十八回松尾芸能賞新人賞受賞。

水野悠子（みずのゆうこ）

女流義太夫研究者。昭和四十八〜平成五年（社）義太夫協会事務局勤務。著作に「知られざる芸能史 娘義太夫」（中公新書）、「娘義太夫」人名録とその寄席―国立劇場演芸資料選書 七、「江戸東京娘義太夫の歴史」（法政大学出版局）。平成五年義太夫協会豊澤仙廣賞。同十一年清栄会奨励賞受賞。同十四年より芸能学会常任理事。同二十七年文化庁長官表彰。



若い頃から邦楽に親しめるように小中高生と大人のお得なペア券をご用意しました。お子様やお孫様とぜひいらしてください！

- 日時：平成29年7月29日[土] 午後2時開演 [1時30分開場]
- 会場：紀尾井小ホール（紀尾井ホール5階）
- 料金：全席指定 4,000円
学生優待 2,000円
親子セット券 3,000円（小中高生と大人）
- チケットのご予約は
紀尾井ホールウェブチケット <http://www.kioi-hall.or.jp>
紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061（10:00~18:00）日・祝休